

令和5年度（2023年度） 高校生建築デザインコンクール

募 集 要 項

主 催 北 海 道
公益社団法人日本建築家協会北海道支部
一般社団法人北海道建築士事務所協会
一般社団法人北海道建築士会

このコンクールは、道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒の皆さんから、建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、4団体の共催により実施しているものです。

今年度は、「きた住まいるヴィレッジに建つ、子育てが楽しくなる北方型住宅」を設計課題とします。

きた住まいるヴィレッジは、北海道がおすすめする住宅事業者「きた住まいるメンバー」である建築家×地域工務店が、「クオリティ・ファーストの暮らし」をコンセプトとし、緑・農・住のまち南幌町を舞台に、地域に根ざした豊かな暮らし、まちづくりを提案している新しいマチです。建設されるのは、北海道が普及推進する高性能で高品質な住宅である「北方型住宅」であり、「長く、ていねいに暮らす」ことをイメージし、将来の変化に柔軟に対応できる備えや、自然素材の魅力を楽しむ暮らしなどが提案された住宅になっています。

今年度の設計課題は、子育て支援の取組みにより、近年、多くの世帯が移住する南幌町で、家族でのびのびと子育てを楽しめる庭付き一戸建て住宅を計画するものです。

コンクールのスケジュール

① 質問の受付	令和5年7月19日（水）まで
② 質問に対する回答	令和5年7月26日（水）
③ 応募作品の受付	令和5年11月30日（木）まで
④ 入選作品の発表	令和5年12月下旬 [予定]
⑤ 全作品の展示会（予定）	令和6年1月6日（土）、7日（日）
⑥ 表彰及び伝達式	令和6年2月中旬 [予定]
⑦ 作品返却	令和6年2月下旬 [予定]

目次

1	設計課題	1
2	設計の条件	1
	（1）建設地	
	（2）想定敷地及び建設条件	
	（3）建築物の構造・機微	
	（4）施設の利用計画	
	（5）参考資料	
	（6）現地調査を行う場合の注意事項	
3	提出図面	2
	（1）用紙	
	（2）要求図面等	
	（3）その他	
4	設計課題に関する質問	3
	（1）設計課題に関する質問	
	（2）質問に関する回答	
5	応募資格及び応募方法	3
	（1）応募資格	
	（2）応募方法	
	（3）応募締切日	
6	質問・応募作品の提出先	3
7	入選作品の選定方法	4
	（1）令和5年度（2023年度）高校生建築デザインコンクール選定委員会委員	
	（2）入選作品選定審査の重視事項	
	（3）失格の判断基準	
	（4）選定する入選作品	
8	入選作品の発表等	5
	（1）入選作品の発表	
	（2）賞状の贈呈	
9	著作権	5
10	応募作品の展示及び返却	5
11	別添資料	5

1 設計課題

「きた住まいるヴィレッジに建つ、子育てが楽しくなる北方型住宅」

- ・南幌町では、人口減少や少子化対策として、子育て世帯に対する住宅建築助成金をはじめ、多くの取組みを行っており、近年、多くの世帯が移住しています。
- ・南幌町みどり野の「きた住まいるヴィレッジ」では、道外や町外から移住した方、広々とした敷地で子育てや趣味を楽しみたい方など様々な家族が新たなコミュニティを形成し、豊かな暮らしを楽しんでいます。また、令和5年5月には、きた住まいるヴィレッジに隣接して、町が整備した子ども室内遊戯施設がオープンしています。
- ・設計にあたっては、自然豊かな南幌町で、地域に根ざし、家族でのびのびと子育てを楽しむことができる北方型住宅を提案してください。

※今年度の設計課題については、整備の予定はなく想定での課題となります。

2 設計の条件

(1) 建設地

南幌町みどり野「きた住まいるヴィレッジ」内

住所：北海道南幌町美園1丁目

(2) 想定敷地及び建設条件（別添3「付近見取図」、別添4「想定敷地略図」参照）

- ① 想定敷地は分譲区画の3区画分とし、3区画分の敷地面積は1,058.86㎡です。
- ② 「きた住まいるヴィレッジのデザインルール」（別添5）では、ゆったりと秩序ある街並みを保つため、住宅を互い違いに配置（千鳥配置）することとし、敷地境界からの壁面後退距離についても1m以上確保することとしています。提案を求める住宅の建設位置は、別添4に示した建築可能範囲内としてください。また、千鳥配置によってできるスペース（隣地）を菜園や庭、共用の場として活用することとしています。これら、隣地の活用方法についても計画し、提案してください。
- ③ 想定敷地は、平坦な敷地形状で建設するものとします。

(3) 建築物の構造・規模

- ① 構造は問いません。
- ② 平屋又は2階建て 1棟 延べ床面積120㎡程度

(4) 施設の利用計画

庭付き一戸建て住宅とします。

(5) 参考資料

- ・道では、北海道の気候風土に適した質の高い住宅として「北方型住宅2020」を定めていますので、提案に当たって参考としてください。詳しくは別添6「北方型住宅2020の概要」をご確認ください。

- ・「きた住まいるヴィレッジのデザインルール」（別添5）の必須項目中「住宅性能」は今回の課題では必須とはしませんので、「任意項目」と併せて、提案を行う際の参考としてください。

本コンクールでは、これらの基準への適合を求めるものではなく、性能（省エネ性能等）や建材の種類などを図面上明示する必要はありません。

(6) 現地調査を行う場合の注意事項

- ・きた住まいるヴィレッジに建築された住宅は全てに居住されていますので、内部の見学はできません。
- ・住宅に近づいての写真撮影など、居住者の迷惑になる行為は遠慮してください。

3 提出図面

(1) 用紙

日本工業規格A2判（420mm×594mm）横置き一枚片面（裏は使用しないこと）に全ての要求図面等を描いてください。

なお、図面等の貼り付けは構いませんが、貼り付けの場合も規格の範囲内に収めてください。

(2) 要求図面等

- ① 作品タイトル：作品のタイトル（表題）を記入してください。
- ② 設計主旨：設計主旨を用紙内に簡潔に記入してください。（300字以内）
- ③ 配置図：縮尺1/100～1/150
建物配置、方位、敷地の寸法を必ず記入してください。
- ④ 平面図：縮尺1/100～1/150
1階平面図は配置図と兼ねてもよい。
- ⑤ 断面図：縮尺1/50～1/100
- ⑥ 立面図：縮尺1/50～1/100（1面）※（例・南側立面図）
- ⑦ スケッチ：建物の全体を表現するスケッチ（透視図、模型写真等）を入れてください。〔描き込み（色塗り可）、貼り付けを問いません。〕
- ⑧ 面積表：延べ面積を図面内に記入してください。

※ 各図に記入する寸法の単位はmm（ミリメートル）とします。

(3) その他

- ① 作品の表面には、学校名、学年、氏名、記号など応募者に関する事項は一切記入しないでください。
- ② 作品の裏面の右上に学校名、学年、氏名（グループで応募する場合は、“グループ応募”と記載し、代表者の氏名）を記入してください。

4 設計課題に関する質問

(1) 設計課題に関する質問

- ・質問の提出は、学校単位で取りまとめの上、書面（電子データ可）で事務局に提出してください。
- ・質問の受付は、令和5年（2023年）7月19日（水）必着とします。

(2) 質問に対する回答

- ・質問に対する回答は、令和5年（2023年）7月26日（水）までに全学校に通知し、回答内容は本募集要項に追加するもの又は内容を修正するものとして扱います。

5 応募資格及び応募方法

(1) 応募資格

道内の建築系学科が設置されている高校に在籍する生徒で、個人又は3名以下のグループとします。

(2) 応募方法

- ① 必要事項を記入した応募用紙（別添1）を封筒に入れ、作品と一緒に学校の担当者に提出してください。
- ② 令和5年度（2023年度）高校生建築デザインコンクール実行運営委員会事務局への提出は学校を通じて行うものとし、応募者個人が直接事務局に提出することは認められません。

学校の担当者は「令和5年度（2023年度）高校生建築デザインコンクール応募者名簿」（別添2）を電子データで作成のうえ、印刷した名簿を作品と共に送付してください。

また、当該データ（別添2）を事務局メールアドレスへ送信してください。

※「6 質問・応募作品の提出先」にメールアドレスを記載。

(3) 応募締切日

応募締切日は、令和5年（2023年）11月30日（木）まで（当日の消印有効）とします。

6 質問・応募作品の提出先

各学校からの質問及び応募作品の提出先は、次のとおりです。

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道建設部 建築局 計画管理課 計画係

「令和5年度（2023年度）高校生建築デザインコンクール実行運営委員会事務局」

TEL：011-204-5593（直通ダイヤル）

FAX：011-232-1092

メールアドレス：kensetsu.kenkei1@pref.hokkaido.lg.jp

7 入選作品の選定方法

令和5年度（2023年度）高校生建築デザインコンクール選定委員会で審査を行い、入選作品を選定します。

（1）令和5年度（2023年度）高校生建築デザインコンクール選定委員会委員

委員長 鈴木 伸広（北海道建設部建築局建築整備課長）

赤坂 真一郎（公益社団法人日本建築家協会北海道支部 副支部長）

松田 真人（一般社団法人北海道建築士事務所協会 副会長）

松本 純（一般社団法人北海道建築士会 まちづくり委員会 副委員長）

相馬 利幸（北海道教育庁学校教育局高校教育課長）

（2）入選作品選定審査の重視事項

入選作品を選定する審査において重視する事項は、次のとおりです。

- ・ 高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか
- ・ 設計のコンセプトやデザインに魅力があるか
- ・ 立地条件を生かしているか
- ・ きた住まいるヴィレッジのデザインルールに沿っているか

（3）失格の判断基準

応募作品が次のいずれかに該当する場合は、原則として失格とします。

- ・ 既に他の競技会などで発表されているもの
- ・ 他の作品からの全体または部分的なアイデアの盗用が判明したもの
- ・ 設計条件に違反した場合や応募用紙に虚偽事項が記載されていたもの
- ・ その他、募集要項に重大な違反をしたもの

（4）選定する入選作品

①最優秀作品賞：1点

応募作品の中から特に優れた作品を選定します。

②優秀作品賞：3点

課題の趣旨を的確に捉え、創造性にあふれる作品を選定します。

③佳作：4点

アイデアなどが個性的なもの又は、工夫や努力が認められる作品を選定します

④特別賞：2点

高校生らしい独創的なアイデアのもの、又は若々しくユニークで個性的と認められる作品を選定します。

8 入選作品の発表等

(1) 入選作品の発表

令和5年(2023年)12月下旬(予定)に学校を通じてお知らせします。

(2) 賞状の贈呈

令和6年(2024年)2月中旬(予定)に表彰式・伝達式を実施する予定です。

9 著作権

作品に関する著作権は、北海道に帰属します。

10 応募作品の展示及び返却

(1) 令和6年(2024年)1月6日(土)、7日(日)の2日間(又はいずれか一日)、札幌駅前通地下歩行空間で実施される「建設産業ふれあい展」において、応募された全作品を展示する予定です。

(2) 各学校への応募作品の返却は、令和6年(2024年)2月下旬を予定しています。

11 別添資料

- ・ 応募用紙 【別添1】
- ・ 応募者名簿 【別添2】
- ・ 付近見取図 【別添3】
- ・ 想定敷地略図 【別添4】
- ・ きた住まいるヴィレッジのデザインルール 【別添5】
- ・ 北方型住宅2020の概要 【別添6】

令和5年度(2023年度)高校生建築デザインコンクール
 応募用紙

※受付日	
※作品番号	

作品 タイトル	フリガナ			設計主旨(作品に記載した文章を入力してください)
	タイトル			
学校名				
学科名				
代表者	フリガナ		学年	
	氏名			
共同製作者	フリガナ		学年	
	氏名			
共同製作者	フリガナ		学年	
	氏名			

高校名	氏名			作品タイトル
	代表者	共同製作者	共同製作者	

【記載要領】

- ・黄色セルに必要事項を入力してください。
- ・作品タイトルは、作品に記載の文章をそのまま入力してください。(文字数は目安として自動計算されます)

作品 タイトル	フリガナ	ホップウガタジュウタク		設計主旨(作品に記載した文章を入力してください)	文字数	266
	タイトル	北方型住宅		北方型住宅基準は、住宅の断熱性能や耐震性能のほか、地域性などの性能以外の基準を定めた「住宅の性能等基準」(4つの基本性能)と、BIS 資格者(断熱施工技術者)の関与に関することなどを定めた「建設時及び維持保全のルール」(3つの仕組み)の2つから成ります。 「住宅の性能等基準」には、北海道の住宅の目標となる北方型住宅としての「必須基準」(基本的に備えるべき項目)と、さらに望まれる水準や性能を目指すための「推奨基準」(配慮を求める項目)の2種類があります。また、「建設時及び維持保全のルール」は、「きた住まいる制度」が支えています。		
学校名		北海道建築高等学校				
学科名		建築学科				
代表者	フリガナ	ホッカイ タロウ	学年			
	氏名	北海 太郎	3			
共同製作者	フリガナ	ホッカイ ジロウ	学年			
	氏名	北海 二郎	2			
共同製作者	フリガナ	ホッカイ サブロウ	学年			
	氏名	北海 サブロウ	1			

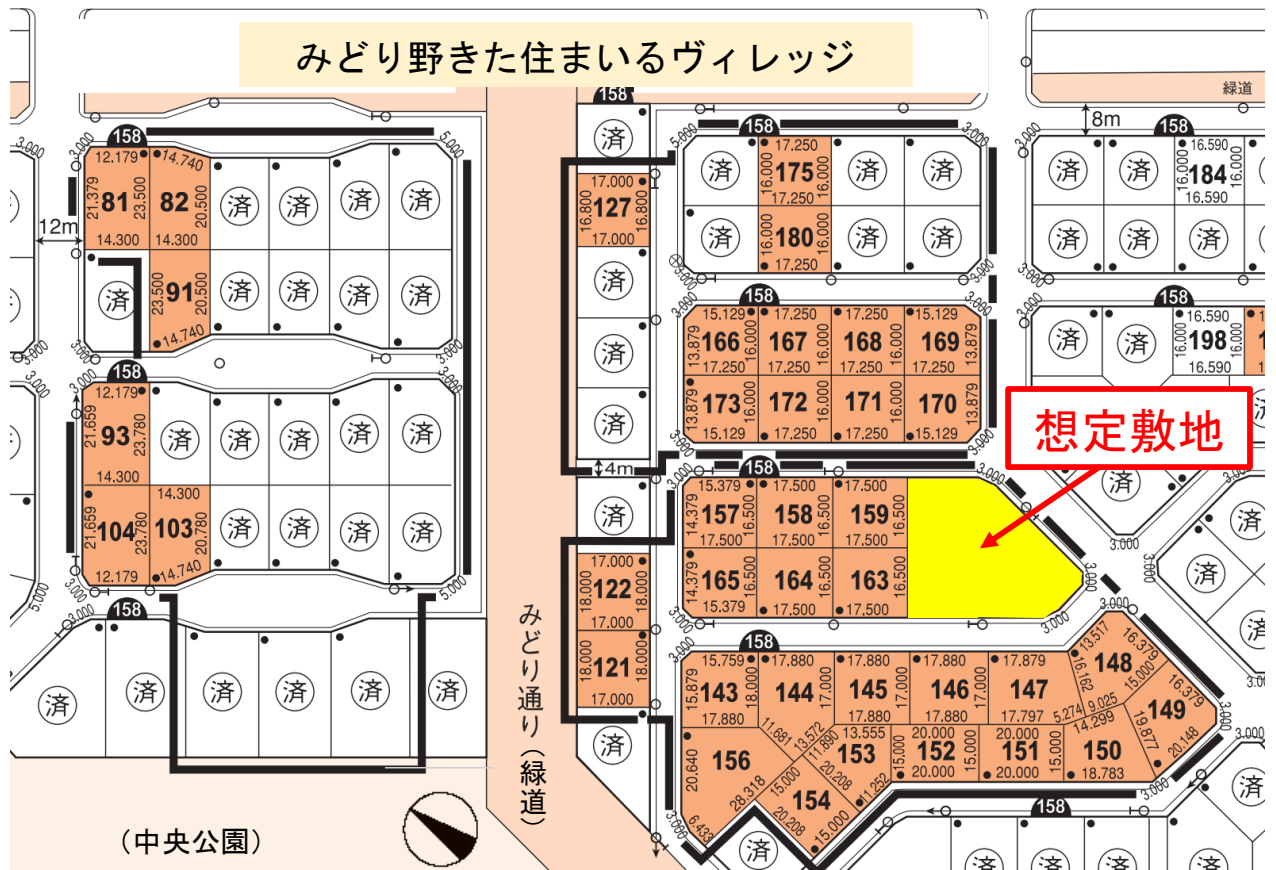
作品展示用の名札として使用します。(上記内容を自動入力)

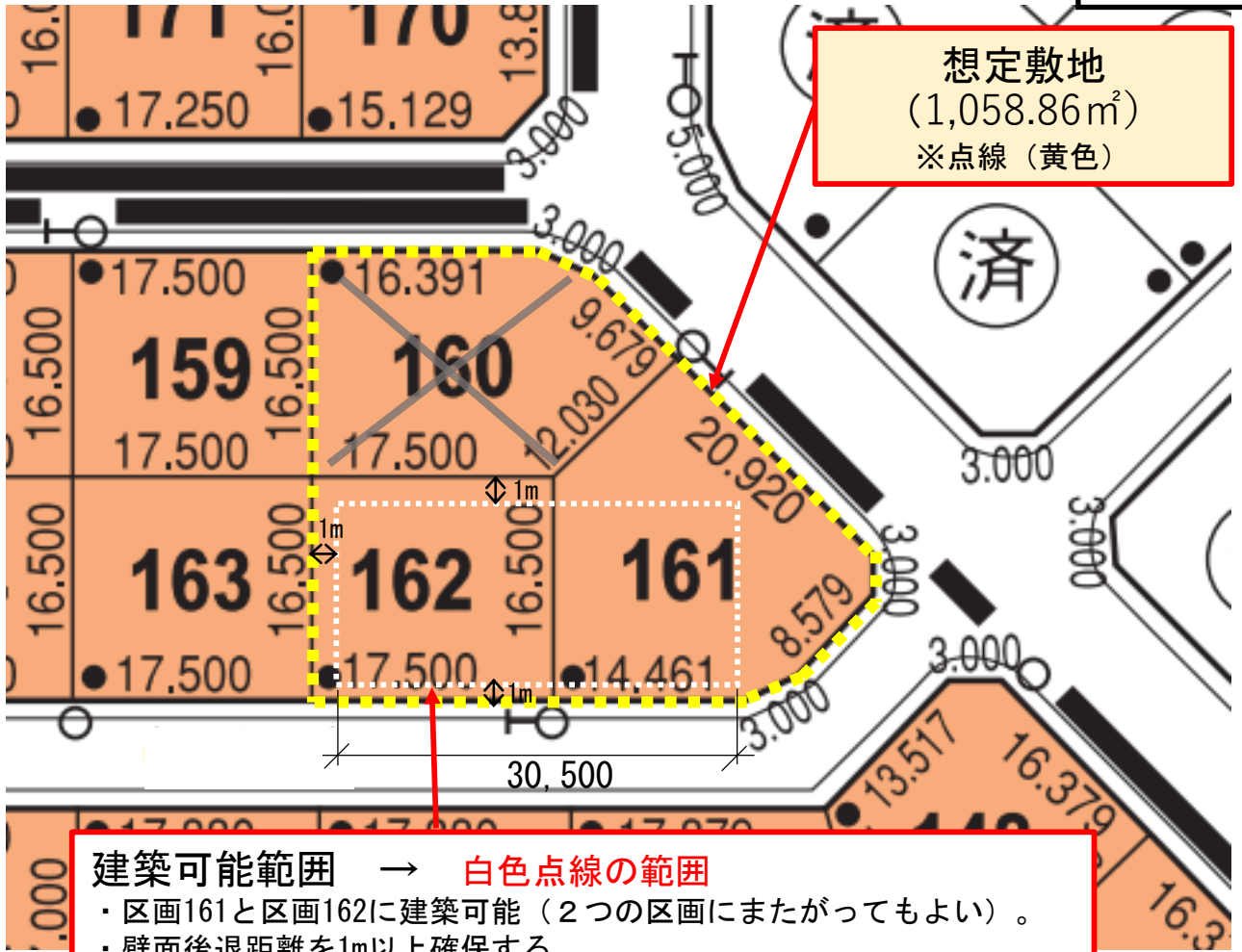
高校名	氏名			作品タイトル
	代表者	共同製作者	共同製作者	
北海道建築高等学校	ホッカイ タロウ	ホッカイ ジロウ	ホッカイ サブロウ	ホップウガタジュウタク
	北海 太郎	北海 二郎	北海 サブロウ	北方型住宅



(道道長沼南幌線)

みどり野きた住まいるヴィレッジ





南幌×暮らし×住まい

クオリティ・ファースト

のデザイン *Quality First*

建築家×地域工務店による、
クオリティ・ファーストの暮らし

暮らしのクオリティを大切にする“クオリティ・ファースト”を基本コンセプトとする「みどり野きた住まいるヴィレッジ」。これを具現化するために前期より提案しているのは、敷地は隣地も合わせて購入できるよう1区画おきに販売して2区画分の広い視界と秩序ある街並みを提供すること。住人が隣地を菜園や庭、共用の場にできること。個々の住宅は、屋外・半屋外空間を室内とつなぎ、住宅の面積以上の広がりを感じられる暮らしを楽しむこと。さらに、「みどり野きた住まいるヴィレッジ」に関わる人たちみんなで“まち”を育てていくこと。そして、これらを確認可能なものとするため、高い住宅性能を実現する技術力と専門知識を持った地域工務店と建築家がともに創ることです。

共通のデザインルールを設定

注文住宅方式(モデルハウスを含む)を可能とする今期は、本事業の趣旨に掲げる「道内の住宅事業者が設計・建設した地域の気候風土などへの配慮や豊かな暮らしを提案する良質な住宅を提示することで、北海道が進めているきた住まいる制度や北方型住宅の普及啓発を図るとともに、南幌町への定住の促進を図る」という目的をかなえ、個々の住まい手の要求に応じながら「みどり野きた住まいるヴィレッジ」らしい魅力ある暮らしのできる住まいを設計・施工することが求められます。

そこで、前期からの基本コンセプトであるクオリティ・ファーストを引き継ぎながら、ヴィレッジ全体のデザインに関する共通ルールとして、参加事業者が基準とすることのできるデザインルールを設定します。

北海道の新しい住まいの形

— 北方型住宅で建設します

クオリティ・ファーストを支える

デザインルール

Design Rule

ライフスタイル
小さく豊かに暮らす

住まいの価値を、暮らしのクオリティに求めるというライフスタイル。見た目には小さくても、心理的な奥行きは深く大きく大きいという、そこに価値を見いだせることが、クオリティ・ファーストを理念とする「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の前提です。

そのため、家だけではなく隣地を活用した共用スペースにも、暮らしのクオリティを高めるしかけをつくり、コミュニティや地域社会とのつながりによって、個々人のライフスタイルを大きく楽しく発展させます。



「みどり野きた住まいるヴィレッジ」では、個々の住宅をはじめ、ヴィレッジ全体にわたるデザインにおいて、前期にて掲げた3つのテーマ「ライフスタイル 小さく豊かに暮らす」「まちづくり この”まち”で暮らす」「住宅のイメージ ていねいに暮らす」を考え方のベースとします。



まちづくり
この”まち”で暮らす

「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の事業に参加するということは、建て主(住人)、住宅ビルダー、建築家であるかに関係なく、まちをつくり、育てることに関わることです。

きれいな街並みやみどりの風景をつくり、共有の意識を大事にする。まちづくりにおいてもクオリティ・ファーストという「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の理念を理解・共有し、まちを育て、豊かな暮らしを育んでいくのが、これからのスタイルです。

そして、デザインに関する共通ルールとして、デザインルール(必須)を設定します。さらに、完成済みの6棟に共通してみられる特徴を分析して良い結果が得られた要素を抽出・整理し、これからの設計・施工の際に活用できるデザインツール(任意)を提示します。



住宅のイメージ
長く、ていねいに暮らす

住宅のイメージは、ハイスペックな住宅性能をもち、暮らしへの経済効果も見込めるエネルギー効率の高い、必要十分な広さの家。

その上で、ドアを付ける・外すなどの簡単なアレンジで暮らしの変化に呼应し、間取り変更や増築がしやすいなど、長く住み続けられる家に必要な、将来の変化に柔軟に対応できる備えを提案。

さらに、地域材を生かした内・外装のデザインで、年月を経るほどに味わいが増す自然素材の魅力を楽しむ暮らしを提案します。

必須項目

まちづくり
この”まち”で暮らす

ライフスタイル
小さく豊かに暮らす

住宅のイメージ
長く、ていねいに暮らす

千鳥配置

住宅は1区画おきに配置することを基本として、ゆったりとした秩序ある街並みを保つ。敷地境界からの壁面後退距離1mを確保する



隣地の活用

千鳥配置によってできる隣地(1区画)に住人の菜園や庭、共用の場に活用するなど、豊かな暮らしを提案



※塀や別棟(屋外物置やガレージなど)を設置する場合、オーナーは住宅の設計者に相談すること

住宅性能

以下の性能を満たすことを基本とする(あるいは、さらに上を目指す)

断熱性能等級 等級4(UA値0.34以下)	一次エネルギー消費量等級 BEI 0.8以下	耐震等級 等級2
高齢者等配慮対策等級 等級3(ただし、玄関の出入口の段差に係る規定は除く)	劣化対策等級 等級3	気密性能 相当隙間面積(C値) 1.0cm ² /m以下(実測値)
維持管理対策等級 等級3	※気密性能以外は、住宅性能評価制度における評価方法基準(平成13年度国土交通省告示第1347号)に基づく	

デザインツール — 任意項目 (推奨)

まちづくり
この「まち」で暮らす

ライフスタイル
小さく豊かに暮らす

住宅のイメージ
長く、ていねいに暮らす

土間空間

外部(「まち」と接続する玄関に、さまざまな作業や活動に活用できる広めの土間空間を設ける



内～外の空間のつながり・広がり

屋内～半屋外～屋外の一体的なつながりや、実際の床面積以上の広がりを感じる空間構成・仕掛け(大開口を設ける、テラスやデッキと室内の床を同レベルにするなど)



内装や構造材に地域材

地域資源から生産された材料(木材や石材、レンガ、ブロックなどを構造材や床・壁・天井などの内装仕上げに利用



暖房設備

メイン暖房として床下換気暖房方式(パッシブ換気含む)などへの取り組み、薪ストーブの併用など



外装に地域材

地域資源から生産された材料(木材や石材、レンガなどを外壁などの仕上げに利用



開放感のある断面構成

間仕切り壁や建具の少ない、上下階にわたって開放的な一室空間の構成(高い断熱気密性による室内温度差小)



動線

広がりを感じられる回遊動線、キッチンを中心としたコンパクトな動線、内外をつなぐ通り抜け動線などに配慮



可変の備え

将来において、簡単なアレンジ(間仕切り壁・ドアの追加、稼働間仕切りなど)や増改築を可能とする設計



日射遮蔽・日射調整

室内温度上昇(特に夏場)をもたらす日射を遮る庇や深い軒を設ける(日射調整可能な外付けブラインドなども有効)



無落雪屋根

厳しい冬を快適に過ごせるよう、雪かきの軽減や安全に配慮(屋根材にシングル材やスノーストッパーなどを採用)



外構計画(街並み)

プライバシーを損なわない程度に通りに対して適度に開き、建物配置と樹木との組み合わせにより、各建物から見える景観や庭・菜園への日射、街並みの統一感に配慮

*隣地の使い方等の住まい方については、別途、住民の方々でまちなみルールをつくり守っていくこととしています。



まちづくり
この「まち」で暮らす

テラス・デッキ(半屋外空間)

外部が気持ちいい時期に活用できるテラスやデッキを室内から連続するよう設ける(屋根や深い軒・庇と組み合わせることで半屋外空間としての活用の幅が広がる)



雁木・カーポート

住宅と統一感のあるデザインで、雨や雪の日も安心して住宅へアプローチできる動線を確保(敷地内の雪かき軽減)



ライフスタイル
小さく豊かに暮らす

外部物置

ヴィレッジ内の景観を良好に保つため、敷地内の物置や薪置き場も住宅と調和のとれたデザインにする



住宅のイメージ
長く、ていねいに暮らす

豊かな暮らしをつくる北の住まい～北方型住宅

北海道では、昭和63年から産学官が連携して、本道にふさわしい豊かな住まいを目指して「北方型住宅」の開発普及に取り組んでいます。北方型住宅は「長寿命」「安心健康」「環境との共生」「地域らしさ」の4つの基本性能に基づき、省エネルギー、耐久性、高齢化への対応、地域資源といった基準等を満たした住宅を北海道が登録を行うものです。

今後は災害対策や低炭素化といった新たな課題に対応するため、2020年に新しい基準「北方型住宅2020」を設ける予定であり、「北方型住宅2020」として登録し、長期優良住宅の認定を取得すると、税制優遇措置などの経済メリットを受けることができます。この「みどり野きた住まいるヴィレッジ」は、高い住宅性能や景観への配慮など北方型住宅の理念に沿って、計画・建設されています。



北海道の住宅の新たなスタンダード

北方型住宅2020

別添6

北海道がおススメする
北海道の気候風土に適した
質の高い住宅

「北方型住宅2020」とは

北海道の気候・風土を熟知したプロによる、地域に調和した高性能で高品質な住宅の証です。
北海道で30年以上培った、快適で豊かな暮らしが続く家づくりの技術がつまっています。

「北方型住宅2020」はこんなに安心！ - 4つの基本性能と3つのしくみ -

長寿命



ライフステージの変化にも対応し、
世代を超えて引き継がれる
高い耐久性と耐用性を持つ住宅

【主な基準】

- (高い耐久性) (高い耐用性) (維持管理の容易さ)
- ・耐震等級2 ・将来の間取り ・維持管理等級3
- ・劣化対策等級3 変更対応〈推奨〉

4つの基本性能



地域らしさ



北海道らしい景観や街並みに配慮して、
積極的に地域材、地場産材を活用しながら
日々の暮らしの中で**地域らしさを育む住宅**

【主な基準】

- (地域資源の活用) (地域活性化)
- ・地域の気候風土を活かした設計・市町村施策に適合〈推奨〉
- ・道産材、地域エネルギーの活用〈推奨〉

安心・健康



災害に強く、だれでも安全で健康に
過ごすことのできる
暮らしを守る器としての住宅

【主な基準】

- (自然災害への対応) (健康・快適)
- ・地震時の倒壊を防ぎ、 ・ホルム対策等級3
- ・冬季の自宅避難のため、 ・適切な換気量
- 無暖房でも一定室温を確保・全室暖房
- ・建物内での避難経路確保、 (高齢者等対応)
- 落下物の防止〈推奨〉 高齢者等への配慮

環境との共生



寒さや雪などの気候特性に配慮しながら
環境負荷を低減する
持続可能な社会と暮らしを支える住宅

【主な基準】

- (省エネ) (雪処理)
- ・UA値=0.34以下 ・敷地内の雪処理に配慮〈推奨〉
- ・BEI=0.8以下 (まちなみ形成)
- ・C値=1.0以下 ・美しいまちなみ形成〈推奨〉
- ・外壁後退

3つのしくみ

北海道がおススメする優良な住宅事業者 **きた住まいるメンバーによる設計・施工**

BIS資格者による設計・施工

確かな設計・施工技術を持つ
事業者による家づくり。



住宅履歴の保管

「きた住まいるサポートシステム」で住
まいの情報を保管し、リフォームや住み替え
に活用。

住宅性能の見える化

住宅性能に加え、
設計・施工者情報も見える化。



「北方型住宅2020」はここが進化！ - 新しい北方型住宅の特長 -

● より快適に！ - 断熱性能の向上 -

- ・住宅の断熱性能を更に向上し、より快適な室内空間を確保できる性能としました。
- ・家中どこでも快適に、結露やカビの発生しない空間をつくることができます。

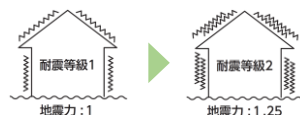
外皮平均熱貫流率 (UA値) ※低いほど高性能

0.34

[W/(m²・K)] 以下 (国の省エネ基準 (札幌) = 0.46以下)

● より安全に！ - 耐震性能の強化 -

- ・従来の北方型住宅より、1.25倍の地震力にも耐えられる耐震性能に強化しました。
- ・大地震でも大きな損傷を受けず、自宅を使用できることを目標とします。
- ・高断熱高气密なので、冬に停電等で無暖房となっても一定の室温を確保します。



● よりエコに！ - 省エネ化の推進 -

- ・暖房などにかかるエネルギーを大きく削減することを基準に加えました。
- ・光熱費を抑え、家計にも社会にも優しい住宅であることを目標とします。

暖房用灯油使用量を削減



※国の省エネ基準レベルの住宅との比較。年間約400L削減 (床面積約40坪、室温20℃、札幌の場合。)

● より安心に！ - 住宅性能・事業者情報の見える化 -

- ・我が家の基本性能や特長を、「住宅ラベリングシート」で確認できます。
- ・事業者の情報を「きた住まいるメンバーシート」で確認できます。

省エネ性能の見える化



※赤字：従来の北方型住宅から見直した基準



● 快適で長く住み続けるために必要な性能を、全て備えています。

耐震だけでも、断熱だけでもない、総合的に優れた住宅を実現します。

● 全国でも推奨される、トップクラスの性能を有しています。

「北方型住宅2020」なら、建設費補助や税制優遇などの支援※を受けることができます。

(※建設費補助等を受けるためには、別途申請等が必要になります。)

基準・制度	北方型住宅2020	長期優良住宅	ZEH支援事業	低炭素住宅	地域型住宅グリーン化事業	【フラット35】S (金利Aプラン)	【フラット35】S (金利Bプラン)	【フラット35】S (ZEH)
劣化対策等級	等級3	等級3	—	—	—	—	等級3	—
耐震等級	等級2	等級2 (一部を除く)	—	—	—	等級3	等級2	—
維持管理対策等級	等級3	等級3	—	—	—	—	等級2	—
高齢者等配慮対策等級	等級3 (一部を除く)	—	—	—	—	等級4	等級3	—
断熱等性能等級 (U値)	等級5 (0.34以下)	等級5 (0.40~0.50以下)	等級5 (0.40~0.50以下)	等級5 (0.40~0.50以下)	—	等級5 (0.40~0.50以下)	等級4 (0.46~0.56以下)	等級5 (0.40~0.50以下)
一次エネルギー消費性能等級 (BEI)	等級6 (0.8以下)	等級6 (0.8以下)	等級6 (0.8以下)	等級6 (0.8以下)	—	等級6 (0.8以下)	等級6 (0.8以下)	等級4 (1.0以下)
その他の基準	・相対開口面積(C値) 1.0 (cm ² /m ²) 以下 ・景観への配慮 など	・住戸面積75m ² 以上 ・良好な環境形成、住環境の維持及び向上に配慮 ・維持保全計画策定	・再生可能エネルギーの活用等によって年間での一次エネルギー消費量が正味で概ねゼロとなる住宅	必須項目) ・再生可能エネルギー源を利用するための設備の導入 (選択項目) 以下から1項目以上に適合 ・節水の取組 ・雨水等の利用 ・HEMS等の取組 ・PV及び蓄電池 ・ヒートアイランド対策 ・劣化対策等級3 ・水道 ・高効率省エネ等利用 ・V2H充放電設備の設置	○以下のいずれか (新築) ・長期優良住宅 ・低炭素住宅 ・ZEH住宅 ○中小住宅生産者等 ○地域材使用	・長期優良住宅 ・免振建築物	—	・ZEH ・Nearly ZEH ・ZEH Oriented
履歴保管	きた住まいのSSへの保管	保管義務	—	—	—	—	—	—
住宅性能の見える化	ラベリングシート	—	BELS	—	—	—	—	—
専門技術者の関与	BIS資格者	—	ZEHビルダー、グリーン化事業グループ	—	住宅省エネ技術講習会の修了者	—	—	—
備考	—	階数が2以下の木造建築物等で重量計算による場合にあっては耐震等級3	—	・市街化区域内 ・省エネ量と創エネ量の合計が基準一次エネルギー消費量の50%以上	—	上記のうち1つ以上。ただし、U値、BEIについては合わせて1つとみなす。	上記のうち1つ以上。ただし、劣化と維持管理、U値とBEIはそれぞれ合せて1つとみなす。	ZEH Orientedの適用は、都市部狭小地、多量地域に限る。

等級：「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく住宅性能表示制度における等級

「北方型住宅2020」はこんなにお得！ —メリット—

● 住宅ローンの金利引き下げ・税の特例措置・地震保険料の割引が適用になります。

・【フラット35】Sを活用することができます(住宅の性能について検査機関等による物件検査(有料)を受ける必要があります)。

※【フラット35】は、住宅金融支援機構と民間金融機関が提携して提供している長期固定金利住宅ローンです。

※【フラット35】S(金利Aプラン)適用により、【フラット35】と比較して、総返済額が約59万円お得になります(注)。

(注)借入金2,500万円(融資率9割以下)、借入期間35年、元利均等返済、ボーナス返済なし、借入金利年1.28%(2020年2月において借入期間が21年以上、融資率9割以下、新機構団信付きの場合で取扱金融機関が提供する最も多い【フラット35(買取型)】の金利)の場合。

・長期優良住宅の認定を受けると、住宅ローン減税の限度額引上げや固定資産税の減税、地震保険料の割引などが受けられます。

● 建設費に対する補助金を受けられる場合があります。

・国や市町村からの補助金を受けられる場合があります。

● 光熱費が安くなります。

・現行の省エネルギー基準レベルの住宅よりもさらにあたたかく、光熱費が安くなります。

どれくらいお得になるの？

しっかりつくって、長く住むほどお得になります！(住宅取得後30年間の試算の一例)※1

・断熱工事費の増額：+約40万円(国の省エネ基準レベルの住宅と比べて、断熱工事費が増額)※2

・暖房費の削減：-約120万円(国の省エネ基準レベルの住宅と比べて、暖房燃料代が年間約4万円削減)※3

トータル：-約80万円(建設費補助などでさらなる優遇が受けられる可能性があります。)

(※1)地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部による試算(※2)床面積約40坪、外壁面積約200m²の場合。窓や天井、住宅設備は同一条件で比較。

(※3)暖房用灯油消費量が年間約400L節約(床面積約40坪、室温20℃、札幌の場合。灯油単価100円/Lで換算)



【お問合せ】

北海道建設部住宅局建築指導課 TEL 011-204-5577

HP「北方型の住まいLab」→

(「北方型住宅」、きた住まいの」などについて)

